

古民家カフェ橘(岐阜県瑞浪市)

旧森川善章家住宅活用事業者募集事業

作成時点：令和 8 年 2 月

古民家

カフェ

基本情報



写真出所：瑞浪市提供

位置図

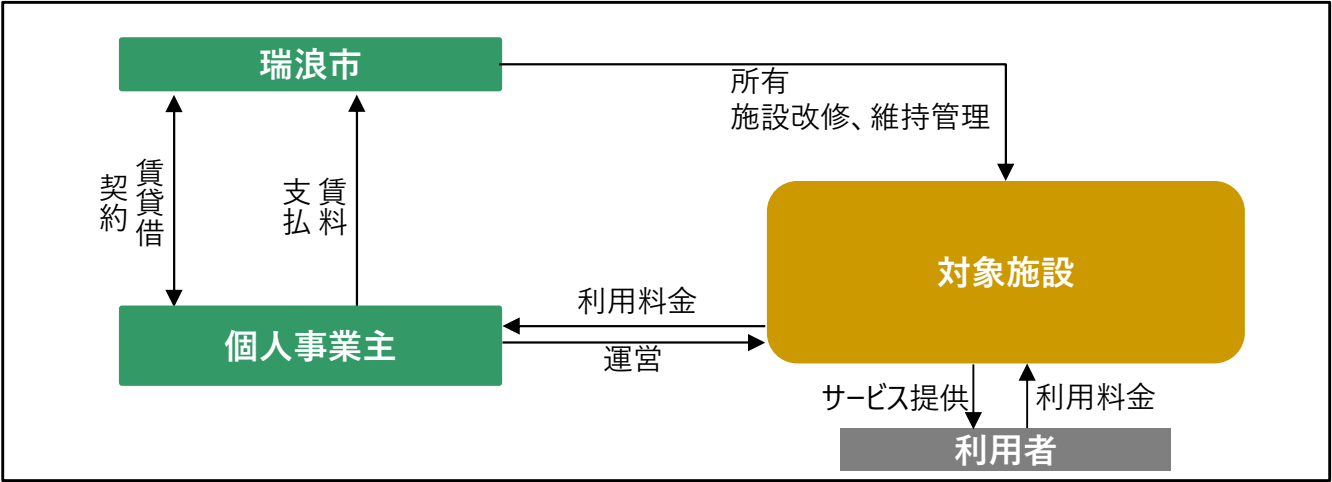
岐阜県瑞浪市大湫町 4 6 3 - 1



電子国土基本図（国土地理院）を加工して作成

事業主体	岐阜県瑞浪市（人口：34,771人 ※令和 8 年 1 月現在）
事業手法	賃貸借
民間事業者の 業務内容	・ 運営業務（カフェ）
事業期間	10年間（令和 3 年 4 月～令和13年 3 月）
事業費等	・ 改修費 約87百万円 ・ 家具什器調達費用 約 3 百万円 ・ 賃料 1 万円/月
活用した 補助金	・ 地域活性化施設等整備基金（MINTO機構）1百万円
事業者	個人事業主
事業経緯	・ 平成26年 市が寄付を受け建物取得 ・ 平成29年11月 公募開始 ・ 平成29年12月 事業者選定 ・ 平成30年 工事設計 ・ 令和 2 年 工事着手 ・ 令和 3 年 供用開始

事業スキーム図



掲載内容
に関する
問合せ先

瑞浪市経済部商工観光課
TEL：0572-68-2111
Email：shoko@city.mizunami.lg.jp

古民家カフェ橘(岐阜県瑞浪市)

作成時点：令和8年2月

古民家

カフェ

検討経緯

- 中山道の宿場町である大湫宿には登録有形文化財が4件あり、そのうち本物件を含む3件が空き家であった。
- 平成26年に大雪で屋根が破損したことをきっかけに、本物件の所有者から、市に寄付の申し入れがあり、市が受け入れた。
- 平成29年に利活用のための公募がなされ、カフェとして活用されることが決定し、改修工事を経て、令和3年より活用が開始された。

取組のポイント

- 改修工事に際して、文化財としての価値を損なわないための工夫に加え、カフェとしての魅力を高める必要があった。そのため、耐震改修工事を含むリノベーション費用を市が負担し、文化財的な価値を保存しつつ、設備や内装等の事業者の希望を反映し、カフェ運営を見越した設計となるように配慮した。
- 事業者は、家具什器調達に市の地域活性化等整備事業補助金（クラウドファンディングが目標額に達すると補助金が出る制度）を活用し、初期投資の負担を削減できた。
- 当該補助金については市とMINTO機構が半分ずつ出資しているファンドから拠出されており、市の負担が軽減されている。

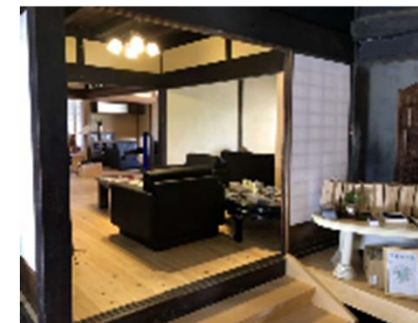
得られた効果

- 歴史のあるエリアに位置し、登録有形文化財という価値のある家屋であったため、取り壊すことはできない一方で、市が直接施設を運営することは、人的資源の観点から困難であった。民間事業者に賃貸することで、管理運営費用を削減し、観光地としての魅力を高める効果も生むことができた。
- 大湫宿という宿場町にある古民家という特性をいかし、カフェ事業を行っており、主に観光客によって利用されている。同様に寄付を受け入れて活用した観光案内所を含め、古民家を積極的に活用することで、面的な景観の維持、観光地としてのブランド力の向上につながっている。

■ 利活用前



■ 利活用後



写真出所：全て瑞浪市提供